

No. 4

この授業は「自分を自分で演技（表現）する」授業です。先生の本業は演劇作家だそうです。授業では、自分を振り返って、「今の自分があるのはこんな出来事があった、こんな選択をしたから」「なぜ私はこれが好きなのか？嫌いなのか？」というようなことを考え、みんなで話し合ったり、発表したりします。試験では「過去の自分」を自分で演技する試験だそうです。基本的には先生の話の聞いている時間が多いですが、先生の話がとっても面白いので、苦痛に感じたりはしません。6級の授業なので心配でしたがとても楽しく授業を受けています。

No. 5

韓国人学生の3年生の授業です。日本語と韓国語の言語的な文化の違いを学ぶ授業です。日本語で書かれた教科書を音読し、先生が説明していくという進め方です。主に日本語で授業が進みますが、はじめは「文化とは何か？」という日本語でも理解が難しいような内容でした。海外から見た日本語の文化を知ることができるので、日本人でも気付いていないような文化に気付いてとても楽しいです。

この授業を申請する際、人数制限があり申請できなかったのですが、先生に直接受けたいとお願いしたら、「日本人学生はぜひ受講して日本の話をしてほしい」と言ってくださり入れてくださいました。もし人数超過で受講申請できなくても、直接先生に言えば、留学生ならOKという先生も結構いらっしゃるの、直接話してみるのがいいと思います。

No. 6

日語日文学科の1年生の授業です。先生は日本人の先生です。私たちは先生のサポートや学生からの質問に答えるという役割をしています。初級日本語の授業なので、簡単なあいさつや数字の教え方などを学びます。会話の授業なので、学生と話す機会が多くあります。しかし韓国人の学生はまだ日本語が十分に話せるレベルではないので、こちらの韓国語の勉強になります。私は外大では日本語学科で日本語教師の勉強をしているので、先生の授業の進め方や話し方も、とても勉強になります。生活編で書きますが、1年生の授業は日本語交流サークルの「トトロ」のメンバーが多いので、韓国人の友達がたくさんできます。

No. 7

日文科の2年生の授業です。先生は基礎会話と同じ、日本人の先生です。毎週、テーマに沿って日本語で討論をします。この授業をとっている学生は日本語レベルがかなり高い人ばかりで、普通に日本語だけで会話ができます。日本人学生は各グループに一人ずつ入って、サポートをしながら同じように討論に参加します。テーマは「恋愛」や「教育」や「IT」などで、日本人同士が討論しているかのようなレベルの高い討論会です。韓国と日本の違いなども知ることができます。

III. 生活編

3月4日が開講日で、まだ大学のこともよく分からない中授業が始まりました。韓国語のレベルテストは開講日より後に行われるため、韓国語の授業がまだどの時間に入るかわからないので、取るかもしれない授業は初日からオリエンテーションに参加して、授業の形態や雰囲気を聞きに行きました。もちろん、事前に授業登録しておいた授業のオリエンテーションにも初日から参加しました。韓国の授業は日本の大学と違って、1授業90分などときっちり決められている訳ではなく、授業によって授業時間が違います。また、1週間に2回授業があるものも多いので、時間割作りが少し難しかったです。

開講日の次の日に韓国語のレベルテストが行われました。韓国語を学んだことがある人と全くできない人とテストの日が違ったので気を付けてください。ペーパーのテストを受けた後、韓国語の先生と面談をし、級を決定します。私は5級になりました。5級のクラスは今年はとても人数が多く20人以上います。ほとんどが中国の方で、日本人が8人くらいいます。レベルの高い授業で、毎日とても勉強になります。5月に行われるTOPIKも申し込みました。日本での申し込み方法とは違って、会場ごとの先着順なので、申し込みが始まった日に申請しないと締め切られてしまいます。試験日までコツコツと勉強していこうと思います。

授業が始まって1週間ほどしたときに、日文学科の歓迎会が行われました。そこで他の日本人留学生や、韓国人の友達もできました。初めて韓国の飲み会に参加して日本との酒文化の違いに驚かされました。韓国人はみんなとてもよくお酒を飲むので、そのペースで付いていくと大変なことになるので本当にお酒の飲み方には気を付けたほうがいいです。

4月にはMTという泊りがけの日文学科の親睦会が行われます。そこでチームごとにダンスを披露します。そのために、授業が終わったら午後から集まってダンスの練習をしていました。同じチームの韓国人の学生ともとても仲良くなり、一緒に食事や飲みに行ったりしてとても楽しいです。

仁川大学には日本語交流サークルの「トトロ」があります。大体みんなトトロに入っていて、月に一回韓国人学生と日本人留学生でどこかに行って遊んだり文化体験をしたりするそうです。トトロの歓迎会もあって、ここでも多くの韓国人学生と話す機会がありました。日文学科の学生は日本語を学んでいるだけあって、日本語もとても上手だし日本のことを知りたい方や日本人学生と話してみたいという方が多いので、交流がしやすいです。

こちらでの食事については、朝はコンビニで買ったパンやキンパを食べます。寮の食堂は朝だけ1000ウォンと、とっても安いのでこちらで食べたいところですが、朝に余裕をもって起きられないので部屋でパンを食べています。お昼は基本的に学生食堂か寮の食堂で食べます。毎年、寮の食堂は美味しくないと報告書で見かけますが、今年から良くなったらしくそこまで酷いとは思いません。普通においしいですので安心してください。(たまに不味いのは出ますが・・)夜は、寮の食堂かコンビニ、ほかの友達も誘って宅配でチキンやジャージャー麺を頼んで食べています。

仁川大学のまわりには、本当に何も無いと言っても過言ではないぐらい何も無いです。ですが大学の中にカフェや食堂やコンビニがいくつもあるのでそこまで不便とは感じませんが、夜には閉まってしまうので少し不便です。バスや電車で15分くらい行くと、ロッテマートや大きなアウトレットがあるので基本的にはそこで買い物をしています。気軽に外に遊びに行けないのは不便ではありますが、その分静かで星もよく見え、勉強するにはとってもいい環境だと思います。

あっという間に1か月が経ってしまいました。短い留学期間の中で後悔の無いように、様々なことにチャレンジしていこうと思います。

No.5

四季、山、海、気候などの、日本の環境的要因から生じる日本語の特徴について学びました。

日本には魚や植物の名前がほかの言語に比べてたくさんある理由や、文学作品から見る季語の意味合いなどを勉強しました。

No.6

初級日本語のテキストを用いて授業が行われます。

日本人学生は、アクティビティのお手伝いをしました。

今月は中間テストで会話のテストがあったので、授業が3回分なくなりました。日本人学生の中間評価はレポートでした。

No.7

日本語の中上級のテキストを用いて授業が行われます。

1課ずつテーマに沿って、フリートークを行った後、討論を行います。

今月のテーマは「国比較」「美容」「就職」を行いました。

中間評価は、韓国人学生と同じ内容で、先生と一対一で討論を行いました。

いくら日本語と言っても討論だし、テーマはいくつかの中からランダムで決められ、根拠のある理由とその証拠資料を提示しなければならなかったので、かなり準備が必要でした。

この授業も、テストのために3回分ほど授業がなくなりました。

III. 生活編

4月に入り学校にもたいぶ慣れてきました。仁川は海側だからか、4月に入ってもまだまだ肌寒い日が多いです。桜が咲くのも日本よりかなり遅かったです。

4月は行事もたくさんあり、中間テストもあったのであつという間に過ぎ去りました。

4月入ってすぐに、日文学科のMTという親睦会のようなものが行われました。貸し切りバスに乗って、2時間くらいのところまで行き、歴史資料館に行ったり、その地の名物料理を食べたりしました。宿泊所では練習したダンスを披露したり、朝までお酒を飲みながら話したりと、とても楽しかったです。

11日に、国際部主催の行事でエバーランドという韓国最大の遊園地に行きました。これは申し込みが先着順ですが、毎年大人気のイベントのため、申し込みが始まった日のお昼ごろには定員に達していました。申し込みが始まる日の早くから申し込みに行くのがおすすめです。

4月末に中間テストがありました。韓国の大学は、日本の大学の試験に比べて、出題範囲がどの授業もとても多いです。さらに私はほかの留学生に比べて授業数も多かったため、毎日テストのために勉強していました。しかし韓国人の学生はテストのために、ものすごく勉強するのでこちらもモチベーションが上がります。韓国人の友達から、一緒に勉強しよう、とか、テストで出る範囲の日本語を教えてほしい、と勉強に誘われることも多かったです。

勉強は大変でしたが、韓国のテスト期間は、無料間食配布イベントが学校のあちこちで行われていたり、無料でコーヒーをもらえたりして、日本とはまた違った雰囲気があって面白かったです。

1度休講になり、その授業がない代わりにソウルにある「ハングル博物館」へ行って、訪問記を書いて出さないという課題が出ました。ハングル博物館ではハングルの歴史を楽しく学ぶことができました。訪問記の分量指定がかなり多く、とても大変でしたが良い思い出になりました。

No. 4

演劇の授業です（演劇というより発表に近い）。最終課題の「自分を表現する」を31日の仁川大学留学生フェスティバルで発表することが決まり、5月はずっとその練習をしていました。

中間試験の際にクラス内で披露した内容をもう少し広げて台本を作りました。それぞれ発表する内容が違うので、それぞれで小道具を用意したり、先生と相談して演出を決めたりしました。発表直前には夕方集まって実際のホールで練習したりもしました。終わった後、頑張った練習した分、たくさんの人に褒めてもらい、とても嬉しかったです。多くの人の前で韓国語で話すことにも抵抗がなくなりました。

No. 5

日本文化と日本語の関連について学ぶ授業です。

今月は、日本人の性格と日本語の特徴について勉強しました。また、授業と並行で発表の準備も始まりました。発表のテーマは「言語から派生する文化」でした。私たち日本人は韓国人のチームに一人ずつ入ることになりました。全員が韓国語と日本語で発表をしなければならなかったのも、お互いに間違っている部分を直し合って原稿を完成させました。ほかのチームの発表では、日本語を様々な観点から見た発表がたくさんあって、とても面白かったです。

授業の中で、韓国人の学生が発言した時の誤用の訂正を求められたり、日本人でも難しい言葉が出てきたり、私達も学ぶことがとても多く楽しいです。

No. 6

韓国人学生の1年生の日本語会話授業です。

簡単なあいさつの課が終わり、本格的に動詞や形容詞、またその活用の課に入ってきました。私が韓国語を勉強し始めて、活用形をつまづいていたところを思い出しました。

日本人学生はアクティビティのお手伝いとして参加していますが、3月の始まったころに比べて、韓国人学生のみんながだんだんと日本語力が成長しているのを感じられてうれしい気持ちになります。

No. 7

韓国人学生の3年生の応用日本語の授業です。テーマに沿って日本語で討論をする授業です。今月は「成功」「家族」「福祉」などがテーマでした。相変わらず韓国人学生の日本語力が高くて驚きます。それと同時に、わたしもこれくらい韓国語で話せるように頑張ろうという気持ちがわきます。

5月の授業では、日本語を使う「ワードウルフ」や「キャット&チョコレート」というカードゲームも行いました。

III. 生活編

桜が咲いたと思ったらあっという間に半袖が登場する季節になりました。中間テストも終わり余裕ができたため、週末は外に遊びに行くことが増えました。学校近くの芝生の公園でピクニックをしたり、GWを利用して仁川に遊びに来た家族と一緒に観光したり、おしゃれなカフェに行ったりしました。しかし、遊んでばかりはられません。19日にTOPIK（韓国語能力試験）があったので、そのための勉強もしていました。

TOPIKが終わってからは、学祭のシーズンです。仁川大学の近くの大学まで行き、好きなアイドルを見に行きました。韓国の大学の学祭では有名な芸能人やアーティストがゲスト出演するので、ほかの大学まで行って公演を見に行くのも楽しみの一つだと思います。

仁川大学の文化祭ももちろんありました。わたしはこの期間、文化祭の準備に追われていました。私は日本語学科が開催する「日本文化体験ブース」の実行委員に入ったので、何をするか会議をしたり、どんなものを買えばいいか話し合ったりしながら、毎週集まって準備しました。今年は着物体験やみたらしだんご、日本の昔遊び（けん玉やだるま落とし、羽子板、ヨーヨー釣り）を用意しました。当日、たくさんの人が来てくれて、韓国ではなかなか体験できない珍しいものを体験して、とても喜んでもらえてうれしかったです。

初めて韓国の文化祭を体験しましたが、日本の文化祭とはかなり違っていて驚きの連続でした。韓国の文化祭は夜がメインで、お昼は普通に授業があります。夕方になるにつれて屋台が騒がしくなり、フードトラックにも人が集まり始めます。お酒もたくさん販売していました。深夜の2時まで外で飲んだりしても良いらしく、日本の文化祭ではお酒を夜遅くまで飲み明かすことは絶対がないので、とてもびっくりしました。4日間通して行われましたが、仁川大学でも毎日豪華なアイドルやアーティストが来て公演をしていました。

4日間、お酒を飲みながらいつもの友達やはじめて話す人など、いろいろな人と話して韓国人の学生とより深い関係を築けたと思います。

毎日慌ただしく過ごしていたら、気が付けば帰国まで1か月を切ってしまいました。楽しいことがあってももう残り少ないのかと思うと寂しい気持ちになります。毎日を大切に、無駄にしないよう、残り一か月過ごそうと思います。

月間報告書 6月分

学籍番号： 留学先 ：韓国 仁川大学校
 氏名 ： 留学期間：2019年04月01日 ～ 2019年09月19日
 年次 ：4年次 留学区分：派遣留学
 クラス ：J02

I. 受講時間数

No.	履修科目 (原語名)	履修科目 (日本語名)	受講時間数 (分)	授業形態
1	한국어 이해의 심화(2)	韓国語理解の深化(2)	495	授業
2	한국어 표현의 심화(2)	韓国語表現の深化(2)	330	授業
3	5급 한국어(2)	5級韓国語(2)	330	授業
4	6급 한국어연습(2)	6級韓国語演習(2)	1	授業
5	일본의 언어와 문화	日本語の言語と文化	375	授業
6	기초 일본어 회화	基礎日本語会話	310	授業
7	응용 일본어 회화(1)	応用日本語会話	360	授業

II. 授業内容

No.1
 期末テストは、口頭試験と筆記試験がありました。2週に分けて行われました。口頭試験では、事前にテキストの内容から5問程度出題されており、当日ランダムで1つ出題されます。その問題に対して韓国語で1～2分ほどで説明するという試験です。筆記試験は今回は要約はなく、すべてテキストの内容に関する4択問題だったので、そこまで難しくはなかったです。

No.2
 期末テストは中間テストと形式はほぼ同じです。しかし学んだ範囲からまんべんなく出題されるので復習は必須です。単語を韓国語で説明する問題が5問ほど出ますが、授業で深く触れていない単語が出たりするので、単語は全て見直したほうが良いです。文法はテキストに対応するワークブックをやっておけば大丈夫です。

No.3
 テストは、授業で扱った単語や文法を使って文を作成する問題がほとんどです。テキストからだけでなく、先生の小話からも出るので注意です。しかし、テスト前に先生がメールで授業で扱った内容をまとめて送ってくださるのでそれを基に勉強すれば大丈夫です。
 今回は5月にハン글博物館の課題があったので、1人ずつ自分が感想文の中で使った単語がテストに出題されました。このようなことも事前に先生が告知してくださるので心配しなくてもよいと思います。

No.4
 この授業の最終課題は、5月末に行われた演劇発表会だったので、6月は授業はありませんでした。

No.5

日本語と日本文化の関連を学ぶ授業です。

今月はテキストだけでなく、先生の用意したプリントを使って敬語の学習をしました。日本人でも敬語は間違えることが多いので改めて学べてよかったです。韓国人の学生は謙譲語と尊敬語の区別に苦戦していました。

最後の授業では先生がピザをおごって下さって、みんなで食べました。

今回のテストは韓国人学生と日本人学生と全く別のものでした。日本人学生は「あなたの思う日本語の定義とは」でした。日本語と韓国語で書かなければなりませんでした。テキストの内容を参考にしながら作成しましたが、そもそものテキストの内容が難しいので苦労しました。

私が日本語学科で日本語教育を専攻しているということで、最後に韓国人の間違えやすい日本語をまとめて発表してほしいと頼まれました。発表の際に訂正した文法や、友達と会話をしていて気になった間違いなどをまとめました。

No.6

6月から期末テストが始まったので、授業はありませんでした。韓国人の学生は先生とのインタビューテストがあり、日本人の学生は中間試験と同様にレポートでの評価です。今回は「留学を通じてのアイデンティティの変化」についてレポートを作成して提出しました。

No.7

6月から期末試験が始まりました。中間試験と同様、授業で扱ったテーマの5つの中からランダムで一つ出題されるので、そのテーマに賛成か反対か、その理由を根拠のある資料を提示しながら先生に説明します。今回もランダムなので、何が出ても対応できるように全てのテーマ分準備しなくてはならなかったので大変でした。

この授業は1度休校になったので、補講週に1度補講がありました。先生がお菓子やジュースを買ってきてくださって、クラスのみんとパーティをしました。

III. 生活編

ついに留学最後の月になりました。大学生活では期末テストが始まり、あまり余裕がなくなってきました。授業も最後の授業になるたびにお別れモードでとても寂しかったです。最後の月なのに、期末テストがあるせいで仲のいい韓国人の友達と週末に遊ばませんでした。遊びたい友達がいるなら、早めに時間を合わせておくのがおすすめです。しかし、最後に送別会や日本人留学生会を行って、たくさん盛り上がりたてほんとうに楽しかったです。送別会で初めて話して仲良くなった人もいたので、仲良くなってすぐにお別れしなくてはいけなかったのがつらかったです。

6月は期末テストだけでなく、夏休みや2学期の寮の申請も行われるのでいろいろとバタバタしていました。寮は6月22日にすべての部屋替えが行われます。引き続き2学期も留学する人も、帰国する人も全員22日に今住んでる部屋を空けて違う部屋に移動しなければなりません。もし22日以降、1日でも延長して住みたいと思うなら、夏休み中の寮申請をしなければなりません。私も元々26日に帰国する予定でしたが、その日まで住もうと思えば3週間分の寮費を払わなければならなかったもので、予定を変更して22日帰国にしました。夏休みに短期間滞在しようと考えている人は、よく考えて申請する必要があります。

帰国の際の荷物ですが、韓国で買い足した物も多くあったので、国際郵便で送ることにしました。EMS（国際スピード便）は早くて安心ですが、かなり値段が高いので余程大切なものを送るのではない限りあまりオススメしませんが、段ボール1箱6kgくらいだったら7,8千円くらいします。私は今必要ではない冬物を船便で送ることにしました。到着までに1か月くらいかかりますが、2,3千円で済みます。もう少し早く届いてほしいなら飛行機便をオススメします。

帰国日、日本語学科の友達たちが仁川空港まで見送りに来てくれて、最後の最後まで良い思い出が出来ました。

本当に仁川大学は学生も先生もいい人ばかりです。4年生で留学に行くことに大変悩みましたが、仁川大学に留学して本当に良かったと思います。後悔は1ミリもありません。この4か月間、私にとって絶対に忘れられない留学期間になりました。この留学に関わった全ての方に感謝したいです。

また就活が終わったら、遊びに行きたいです。本当にありがとうございました。